キャンパス点描

A-WiL国際シンポジウムを開催しました

午前の部「各国女性リーダー育成教育の取り組み」講演

2012年2月11日（土）にお茶の水女子大学主催のA-WiL国際シンポジウム(※)「未来を創造する大学」を開催しました。本シンポジウムは、2011年4月に日本初の「男女共同参画推進本部」を設置したお茶の水女子大学が、男女共同参画社会実現に向けて本格的に取り組む決意表明としてのシンポジウムです。当日は、定員120名を大幅に超える180名の参加がありました。

午前の部「各国女性リーダー育成教育の取り組み」では、海外の三女子大学（韓国 梨花女子大学、米国 マウントホリヨーク大学、イタリア コッレージョ・ヌォーボォ）における女性リーダー育成教育についてお話し頂き、それぞれの国の文化や校風に基づいて構築された各大学の女性教育モデルが紹介されました。本学からは、「『みがかずば』の理念に基づく女性リーダーの育成」の紹介を行いました。参加者からは「日本の女子教育も世界の女子教育も同じ道筋をたどってきたと実感した」、「今少し停滞しているように感じていたのだが、未来に向けて希望をもった」などの感想を頂きました。

午後の部では、羽入佐和子学長が主催側から挨拶し、板東久美子氏（文部科学省高等教育局長）、岡島敦子氏（内閣府男女共同参画局長）よりご挨拶を頂戴しました。さらに学長講演に先立って、宇宙航空研究開発機構（JAXA）との文化・人文社会科学利用パイロットミッション「飛天」の舞踊作品の上演と、石黒節子名誉教授（お茶の水女子大学）による飛天プロジェクトの解説がなされました。「飛天」について、観客から「素晴らしい」、「新鮮で味わい深い」等の声を頂きました。

羽入佐和子学長挨拶

「世界の女性学長、語る –人生・キャリア・哲学」では、コメンテータに奈良女子大学野口誠之学長を迎え、海外の三女子大学より女性学長、キム・ソンウク学長（韓国 梨花女子大学）、リン・パスクェラ学長（米国 マウントホリヨーク大学）、パオラ・ベルナルディ学長（イタリア コッレージョ・ヌォーボォ）をお招きし、羽入佐和子学長とともに、学術の世界でトップに立つ女性学長として、幼少期や学生時代、現在に至るまでを写真を交えて、各人の人生観、社会へのメッセージ、未来のビジョンを語っていただきました。観客からも「普段聞くことのできない話を聞くことができよかった」、「国が違っても大切なこと（リーダーシップの要因）は共通点が多いのだと感じた」、「ご自身の経験、考えから強い使命感を抱きリーダーになられたということに驚嘆した」などの感想を多数頂きました。

午後の部「世界の女性学長、語る-人生・キャリア・哲学」パネルディスカッション

参加者からは全体を通じて、「一人の人生にとって重要な人物に出会うことは大変重要である」、「質の高い内容で、わざわざ足を運んだ甲斐があった」、「高いレベルの女子教育（キャリア教育も含めて）が今こそ大切と感じた」などの意見を頂きました。

本シンポジウムの議論を通して、未来を志向し、未来から今を問い、そして今を創造するためのアイディアを数多く得て、シンポジウムは盛会裏に終了しました。

※A-WiLは、お茶の水女子大学の事業「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」（文部科学省特別経費 平成22年度～27年度）の略称で、その英語名「International Research Program for the Advancement of Women in Leadership」に基づいています。

福井県と企業の女性リーダー育成相互協定を締結しました

お茶の水女子大学は1月21日（土）、福井県と女性リーダー育成のための相互協定を締結しました。締結式は福井県生活学習館で行われ、羽入佐和子学長と西川一誠知事が協定書にサインしました。本学では地方自治体との女性リーダー育成のための協定は初めてのケースとなります。

福井県が平成24年度から実施する「未来きらりプログラム」策定のために、本学が実施している女性リーダー育成のノウハウを活用し、福井県内の企業の女性がキャリアアップを目指すためのプログラム策定を協力して行うことになります。

この協定は、本学が国内外で活躍する女性リーダーの育成を自らの使命とし、リーダーシップ教育に取り組んできた実績が評価され、期待されたものです。

羽入学長は「小さな繋がりが、強い意志を持つことで、大きな成果になると思う」と協定締結の成果に期待を寄せました。

協定式後に、福井県内の企業、団体で活躍する女性でつくる「ふくい女性ネット」主催の講演会（講師:森本千賀子さん、㈱リクルートエグゼクティブエージェント）に出席し、参加した福井県の女性に励ましのエールを送りました。

ニュートンのリンゴの木記念植樹セレモニーを挙行しました

2月13日（月）、お茶の水女子大学正門横のインフォメーション・プラザ前広場の整備に伴い、ニュートンのリンゴの木記念植樹セレモニーを挙行しました。

物理学者ニュートン Sir Isaac Newton (1643-1727) が、リンゴの実が木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したという逸話は有名です。ニュートンの生家にあったその木は、接ぎ木によって各国の科学に関係ある施設に分譲され育てられています。

この度東京大学から本学に贈られたこのリンゴの苗木は、東京大学小石川植物園で育てられている木の枝を接ぎ木したものです。

記念セレモニーにおいて、濱田純一東京大学総長、寺島一郎東京大学小石川植物園園長、羽入佐和子学長により記念植樹が執り行われました。

お茶の水女子大学のホームページがリニューアルオープンしました

お茶の水女子大学のホームページが1月17日（火）にリニューアルオープンしました。大学のニュースやイベント情報など、さまざまな大学情報を発信していきますので、ぜひご利用ください。

また、今回のホームページリニューアルとあわせて、大学公式Facebookページも1月17日（火）にオープンしました。今後、内容を充実させていく予定ですので、こちらもご利用ください。

お茶大ホームページ	http://www.ocha.ac.jp/
お茶大公式Facebookページ	https://www.facebook.com/ochadai

※FacebookページはFacebookのアカウントをお持ちの方のみご覧いただくことができます。